



# まちなかが生み出す、にぎわいと活力 まちなか広場・まちなか交流センター



平成26年度から整備を進めてきたMallmallは、まちなかの歴史や変遷を温めながら、そこに集う人々を優しく包み込んでいます。新しく吹き始めた風の中、今回は「まちなか広場」と「未来創造ステーション」、そしてMallmallがもたらす波及効果の特集します。 ◎問い合わせ 秘書広報課 ☎23-3174

## にぎわい創出の鍵を握る 「まちなか広場」

Mallmallの建設に当たって、基本コンセプトとしたのが「たまり場（市民の居場所）づくり」でした。

計画策定時に行ったアンケートやワークショップでは、「大型商業施設の閉店後、まちなかを行き交う人が少なくなつた」「人を呼び込めるような集いの場が必要」などの意見が寄せられていました。そこで、市は、まちなかにさまざまなイベントができる「たまり場」の設置を検討。天候に左右されず、人々が集える居場所「まちなか広場」を整備しました。

## 全ての利用者に優しく 配慮した「まちなか広場」

「まちなか広場」は、図書館と未来創造ステーションからなる東側の建物と、都市保健センターやぶれぴかなどからなる西側の建物との間に位置し、明るく開放的な空間が印象的です。

この広場と図書館などの建物は大屋根でつながっていて、小さな子ども連れや家族や高齢者が、雨天時でもスムーズに移動できるよう配慮しています。



## インタビュー

都城まちづくり株式会社  
事業課コーディネーター

馬場 栄至さん



## 皆さんが「まちなか」に足を運びたくなる企画が満載です

毎月第3日曜日に手作り小物やおいしい食べ物がそろい、mallmallマルシェを開催しています。出店者と共に実行委員会を立ち上げ、毎月さまざまなテーマを設けて開催していますので、ぜひ、遊びに来てくださいね。

まちなかで楽しいイベントを企画し仕掛けるのは、私たちだけではありません。「まちなか広場」は広く貸し出していますので、イベントを開催したい皆さんも、ぜひ、活用してみませんか。



### インタビュー

都城商工会議所  
(MIYAKONJOぼんちマルシェ担当)

村上 昌弘さん

## 「まちなか広場」で、お気に入りの商品を見つけませんか

Mallmallのオープンに合わせて「ぼんち市」をリニューアルし、「MIYAKONJOぼんちマルシェ」として展開しています。まちなかのにぎわいを創出することはもちろんですが、出店者のオンラインの商品を、ぜひ、皆さんに手に取ってほしいと思っています。

このマルシェを通じて、皆さんに出店者を知ってもらうことで、ゆくゆくは出店者がまちなかの空き店舗で開業できるよう支援していきたいです。



### インタビュー

都城まちづくり株式会社  
事業課コーディネーター

にしあしたに ことか  
西芦谷 寿花さん

## 気軽に集える「まちなかキッチン」で、仲間と料理を楽しんでみませんか

料理教室の企画や運営などを担当しています。「まちなかキッチン」は、子どもも一緒に料理できる昇降式IH調理台や、割れにくい食器なども備えています。一般的な料理教室のほか、都城市保健センターやぷれぴかのスタッフと連携しながら開催する「親子料理教室」も好評です。

このほか、これから迎える運動会シーズンに向けて、親しい仲間同士でつくるお弁当づくりなど、新たに企画しています。ぜひ、まちなかキッチンを利用してください。

「まちなか広場」では、好評を博していた盆地博覧会（ボンパク）のプログラム提供者が中心となり、「まちなか博覧会」を開催。ヨガ体験やフィットネス講座など、新たな企画が定期的に開催されています。

また、MIYAKONJO ぼんちマルシェ（毎月第2日曜日）や mallmall マルシェ（同第3日曜日）など、大規模なイベントが毎月開催されることで、「たまり場」としての魅力を高めています。

アイデア満載！  
新たな企画が目白押し

誰もが気軽に集える  
「まちなか交流センター」

国道10号に面した「まちなか交流センター」には、会議室や多目的室のほか、料理教室などが開催できる「まちなかキッチン」があります。



## — 利用情報 —

所在地：中町17街区19号Mallmall（国道10号側）  
☎ まちなか交流センター ☎21-6121

- ◎まちなか広場（広さ：599㎡）  
設備：給水栓、電気、音響設備 ※屋根付き
- ◎まちなか交流センター ※カッコ内は定員  
まちなかキッチン（調理台7台、定員16人）  
会議室（24人）、多目的室（100人）



# まちなかが生み出す、にぎわいと活力 未来創造ステーション



## 「ビジネスを目的として集う 未来創造ステーション」

これまで市内になかった、さまざまな働き方に対応するスペースと、会議や研修などのビジネスを目的に集う場を提供するため、図書館2階西側に「未来創造ステーション」を開設しました。

セミナー室や多目的室などを、市民グループや企業などがさまざまな目的で利用可能。また、産学官と金融機関との連携を図りながら、創業支援などを推進する交流センターの役割も備えていて、各種情報の提供と発信も行っています。



## 「新しい働き方の提案 コワーキングスペース」

事務空間や会議スペースなどを複数の個人が共有する「コワーキングスペース」。創業を目指す人や、創業したばかりの人が仕事をするとして、全国的にもニーズが高まっているこの空間を、未来創造ステーションに設置しました。

さまざまな知識や経験を持つ人たちが集い、働く場を共有することで、新たなアイデアが生まれます。今後は、都城のまちなかから、世界を変えるサービスや製品が生み出されるかもしれません。



### インタビュー

都城まちづくり株式会社  
事業課コーディネーター

みずき  
鎌田 瑞希さん

### 居心地よく、自由に発想できる環境を提供しています

未来創造ステーションでは、自由な発想で他の利用者と語り合うことで、新たなアイデアが生み出されるよう、快適な環境を整えています。創業に関する資料も充実しているので、多くの働く人に足を運んでもらいたいです。

また、セミナー室やコワーキングスペースでは、会議や異業種交流など、さまざまな使い方ができます。これまでの都城にはなかった新しい形態の働く場で、ビジネスチャンスをつかみ、創業する人が生まれることを期待しています。

## 「新たな仕事」を創造する空間

未来創造ステーションでは、創業のための講座や女性の創業を支援するセミナーなども開催しています。今後、どの世代が創業に興味を持っているのかを分析しながら、その結果を反映する仕組みを整えていきます。

また、「関心はあるけれど、何をやって良いのか分からない」など、創業に関する相談も受け付けているほか、利用者を商工会議所や金融機関など専門機関につなぐ「パイプ」としての役割も果たしてまいります。創業する人を未来へつなぎ、仕事を創造する空間となるような取り組みをこれからも進めていきます。

## — 利用情報 —

所在地：中町16街区15号 Mallmall  
(図書館2階西側)

☎ 未来創造ステーション ☎36-5720

### 業務内容

セミナー室や多目的室の貸し出し、創業に関する資料の設置、コワーキングスペースの提供、創業に関する相談など

### 設備 ※カッコ内は定員

会議室2部屋 (①45人、②15人)

セミナー室3部屋 (①14人、②20人、③18人)

多目的室 (16人)、コワーキングスペース

## Mallmallから広がる波及効果

新たな「たまり場」ができたことで、まちなかへの飲食店などの出店が急増しています。今後、キッズカフェや雑貨店などの出店も計画されていて、徐々にまちなか全体にぎわいが広がり、まちなかを回遊する動きが生まれようとしています。

市では、さらなる活性化を図るため、ハード面としてのMallmallの整備と合わせ、ソフト面での支援も充実させていきます。今後、魅力的な店舗の誘致や、にぎわいを創出する次なる仕掛けを展開していきます。

## さらなるにぎわい創出のために

### ● 中心市街地再生プラン事業

まちなかの雰囲気を変えるため、リノベーションによる空き店舗活用を厚く支援。加えて、リノベーションまちづくりのさらなる浸透・進展を図るため、大胆な「まちなか再生補助制度」で、魅力的な店舗の出店を誘導します。

### ● まちなか活性化プラン事業

まちなかのにぎわい創出につながる景観や雰囲気づくりのため、商店街でのイルミネーションや景観形成などの事業を進めています。

## インタビュー



都城市  
タウンマネージャー

二宮 啓市さん

## まちなかに吹き始めた「風」を実感しています

Mallmallがオープンして、まちなかを歩く人が着実に増えてきました。隣接するCプラザでは、Mallmallとの間にあった壁を取り払い、一体感を持たせるなど、人を呼び込む工夫をしたことで、人通りが増え、回遊する流れができています。

回遊する人が増え、飲食をする機会も増加したことで、これまで少なかった、まちなかへの飲食店の出店が着実に増えています。

このにぎわいの効果が、Mallmallからまちなか全体に広がっていくことを期待しています。

## 特集を終えて

3カ月連続のMallmall特集「まちなかに吹き始めた新しい風」は、いかがでしたか。今回、「広報都城」初となる3カ月連続の特集を企画したきっかけは、「Mallmallの整備や運営に関わる人たちの熱い思いを、市民の皆さんに知ってほしい」という、池田市長の一言からでした。

取材を重ねるうちに分かった「なるほど」と思える工夫やアイデア、配慮の数々。その一つ一つに「どおりで居心地がいい」と納得しながら、施設ごとに「熱い思い」を紹介してきました。

オープン3カ月でMallmall全体での来場者が50万人(図書館33・8万人)に到達。取材する中でも「図書館やぶれびかななどに、毎週通っている」との声を耳にしたほど、まちなかは活気にあふれています。

「たまり場(市民の居場所)づくり」をコンセプトとして始まった「まちなかのにぎわい創出」。その効果が周辺に広がり、次なるにぎわいが生まれることで、そこに集う人々は笑顔になり、やがて市全体に活力が沸き出てくるのではないのでしょうか。

そして、「まちなかのにぎわい創出」の取り組みは、次なるステージへと着実に歩みを続けています。